

寅さん歩 その 26

東京の主要道路の起点～終点

駒沢通り－2



平野 武宏

道路名の標識・経路案内標識や標識の数字・その形に興味を持った寅次郎、東京の主要道路を起点から終点まで道路標識を頼りに歩いて、各交差点で交差する道路を学びたいと思い、2021年10月から「不忍通り」、「白山通り」、「春日通り」、「明治通り」、「昭和通り」、「平成通り（番外編）」、「靖国通り（元 大正通り）」、「内堀通り」、「目白通り」、「目黒通り」、「本郷通り」、「世田谷通り」、「江戸通り」、「外堀通り」、「山手通り」、「環二通り」、「外苑東通り」、「外苑西通り」、「永代通り」、「中央通り」、「桜田通り」、「新大橋通り」、「日比谷通り」、「清澄通り」、「晴海通り」、「新宿通り」、「青山通り」、「玉川通り」、「尾久橋通り」、「尾竹橋通り」、「言問通り」、「墨堤通り」、「多摩堤通り」、「三ツ目通り」、「四ツ目通り」、「早稲田通り」、「浅草通り」、「六本木通り」、「池上通り」と歩いてきました。

今回は「駒沢通り」を歩いています。駒沢通りは渋谷区広尾の明治通りの渋谷橋交差点を起点に、世田谷区玉川の多摩堤通りに至る約10kmの道です。

写真右上は駒沢通りの道路名標識（都道416号線）です。前は起点から東京医療センター前交差点まで歩きました。

今回は東京医療センター前交差点から終点の多摩堤通りとの交差点まで歩きます。掲載の写真は人や車の密を避けた時間帯に撮影しました（一部は以前の訪問時に撮影したものもあります）。詳細を知りたい方は各道路のホームページをご覧ください。最寄駅は交通機関を利用した場合の代表駅です。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

[東京医療センター前交差点] 目黒区東が丘二丁目

最寄駅 東急田園都市線 駒沢大学駅

東京医療センター前交差点を直進すると、駒沢通りの左右が駒沢オリンピック公園です。1940年（昭和15年）東京オリンピックメイン会場の建設計画は戦争

で中止となりましたが、1964年（昭和39年）東京オリンピックの会場になり、公園名になりました。駒沢通りにかかる連絡歩道橋を上がって寄り道です。

駒沢オリンピック公園は世田谷区と目黒区にまたがっています。

写真下左は「屋内球技場」、写真下右は「陸上競技場」です。



写真下左はオリンピック記念塔、写真下右は体育館です。体育館内には東京オリンピックメモリアルギャラリーがあります。



[深沢不動前交差点] 世田谷区深沢六丁目

最寄駅 東急田園都市線 桜新町駅

深沢不動前交差点（写真下右）で駒沢公園通りと交差します。左へ行くと等々力方面、右へ行くと駒沢方面です。



交差点前は「深沢不動堂」（写真下左）です。明治時代に深沢村で成田山信仰が高まり、不動明王を祀った不動堂が建てられ、隣にある「医王寺」（写真下右、1625年（寛永2年）創建の真言宗智山派の寺院）から独立、1970年（昭和45年）からは医王寺の住職の管理下にあるとのこと。医王寺は現在の区立深沢小学校発祥の地で山門前にその碑がありました、



[日体大前交差点] 世田谷区深沢七丁目

最寄駅 東急田園都市線 桜新町駅

右側に日本体育大学が見えてきました。日本体育大学は以前に訪問しています。
寅さん歩 209 東京の学食めぐりー15 をご覧ください。



[中町四丁目交差点] 世田谷区中町四丁目

最寄駅 東急大井町線 上野毛駅

中町四丁目交差点（写真下右）で用賀仲町通りと交差します、左へ行くと等々力方面、右へ行くと用賀方面です。駒沢通りは直進です。



[谷沢川・富士見橋] 世田谷区中町四丁目

最寄駅 東急大井町線 上野毛駅

谷沢川（写真下左）は多摩川水系の河川で、等々力溪谷を經由して多摩川に注ぎます。富士見橋（写真下右）を渡り、進みます。



[多摩美大前交差点] 世田谷区上野毛三丁目

最寄駅 東急大井町線 上野毛駅

多摩美大前交差点（写真下右）で環八通り（都道 311 号線）と交差します。



左へ行くと等々力方面、右へ行くと瀬田方面です。交差点左の建物が多摩美術大学上野毛キャンパスです。1935年（昭和10年）前身の多摩帝国美術学校が設立、1953年（昭和28年）多摩美術大学が設置されました。駒沢通りは直進しますが、都道はここまでで、その先は区道となります。写真下左は区道の道路名標識です。東急大井町線をくぐる（写真下右）と終点はすぐです。



[多摩堤通りとの交差点] 世田谷区玉川一丁目

最寄駅 東急田園都市線 二子玉川駅



駒沢通り終点の多摩堤通りとの交差点（写真左）です。右側は二子玉川駅前の商業施設やホテルが建ち並んでいます。前は多摩川が流れ、対岸は神奈川県川崎市です。

駒沢通りを起点から終点まで歩きましたが、知らなかった場所が確認できて良かったです。

[バーチャルウォーク途中経過]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、現在はバーチャルウォーク 松尾芭蕉とあるく「奥の細道」に挑戦しています。全行程約600里（約2400km）の長旅なので最後までたどり着けるか心配ですが、目標があれば元気に生きられると強がっています。

2022年4月26日、江戸深川（現在の江東区深川）を出発、2023年7月27日終点の大垣（現在の岐阜県大垣市）（江戸深川から2016.5km）に到着しました。1年3ヶ月かけて歩いた長い道のりでしたが、完歩した81歳の自分を褒めてやりたい気分です。また松尾芭蕉の俳句を学びながらの楽しい旅でした。八柳さんのコースシートには、次の「奥の細道」本文の評釈と俳句の注釈が掲載されています。

8月21日、馬の背に助けられて、大垣の庄に入ると曾良も伊勢から来あわせ、俳諧同人一同、如行の家が集まった。そのほか親しい人々が集まって、まるであの世から生き返った者にでも会うかのように、無事を喜んだり、疲れをいたわりしてくれる。・・・長旅のつらい思いもまだ抜けきらないのに、すでに9月6日ともなったので、伊勢の遷宮を拝もうと、また舟に乗って、

「蛤の ふたみにわかれて 行く秋ぞ」

（注釈： 離れがたい蛤のふたと身が別れるように、尽きぬ名残を惜しみつつ、人々と別れて、今や二見が浦へとまた新しい旅に発足する時が来た。おりから秋もまさに逝こうとして、四囲の風物はいちだんと惜別の情をかきたてているかのようだ） 完

次のバーチャルウォークは江戸・日本橋をスタートして京三条までの「東海道五十三次」に挑戦です。バーチャルウォーカーの皆様と旅のどこかでお会いできるのを楽しみにしています。

毎日の運動不足対策や事情で例会に参加できない場合はマイお散歩コースを見つけ、その歩いた距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。FWAのHP「YR・四季の道」の「バーチャルウォークコーナー」は各コースが紹介され、各コースシートが印刷できます。また「ひとり歩きコーナー」には地図付きの各コースがありますので選んで印刷して利用ください。

平野 寅次郎 拝